

科目	世界史探究	学年	第3学年	開講	通年	必修	2	単位 (2年間で4単位)
----	-------	----	------	----	----	----	---	--------------

教科書： 山川出版社「詳説世界史」
副教材： 山川出版社「詳説世界史ノート」「詳説世界史図録 第5版」

1 学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる一員としての自覚と資質を養う。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識・技能 定期考査、課題等
- b 思考・判断・表現 定期考査、課題等
- c 主体的に学習に取り組む態度 平素の授業態度、提出物、発表等

前期	第IV部	冷戦と第三世界の台頭	冷戦の展開	第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西陣営に世界が分裂したこと、朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化を理解する。戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する。	4	中間	○			
			第三世界の台頭とキューバ危機				5	○	○	
			冷戦体制の動揺				6	○	○	
	冷戦の終結と今日の世界	産業構造の変容	東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。途上国の民主化の進展とアジア社会主義国家の変容を理解する。世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や文化の特徴を理解する。	6	7	中間	○			
		冷戦の終結					7	○	○	
		今日の世界					7	○	○	
			現代文明の諸相				7	中間	○	○
		総合問題演習	これまでの学習の総復習を兼ねて、大学共通試験の過去問演習を中心に実施する。	9	期末	○	○	○		
		前期 授業評価				○	○	○		
後期		総合問題演習	これまでの学習の総復習を兼ねて、大学共通試験の過去問演習を中心に実施する。		学年末	○	○	○		
		後期 授業評価				○	○	○		

3 評価の観点

各観点100点満点で算出する。
 ○知識・技能 : 考査素点 70%+課題等 30%
 ○思考・判断・表現 : 考査素点 60%+課題等 40%
 ○主体的に学習に取り組む態度 : 平素の授業態度、提出物、発表等…100%